

支 部 紹 介

第7回愛媛大学医学部同窓会九州支部総会報告



平成22年7月31日(土)夕刻より、第7回愛媛大学医学部同窓会九州支部総会が、例年通り、福岡市の博多都ホテルにて開催されました。出席人数は18名で例年よりやや少なかったのですが、総会に続き、特別講演は、7期生の長崎県立大学国際文化経済研究所教授の立石憲彦氏をお願いして、「離島の医療の現状」を御講演頂きました。医療財源の乏しい中、不足点をあげつらうのは簡単ですが、医療サービスの供給側も受給側も、財源不足の共通認識下、協力関係の構築及び効率化を展開し、それなりの実績や効果を上げられている現状報告は、ある種の感動を呼びました。その後の懇親会は、少ない女性陣が各

テーブルに配され(住井事務局長の粋な配慮か?と思われませんが…)、それぞれのテーブル間を往来しながら歓談し盛り上がりました。続いての同ホテルでの二次会、中洲に場所を変えての三次会も例年通り、いやそれ以上に盛り上がり(喧嘩寸前の盛り上がりも一部認められたようですが…)、来年も又来るぞとの思いを強くした支部会員の面々でした。平成23年は九州新幹線全線開通の年であり、関西方面との繋がりもより緊密になって来ますので、同年の第8回九州支部総会への中四国並びに関西の同窓会員様の飛び入り参加を期待しているところです。

(文責 九州支部長 西口昭弘)

近畿支部2010年度総会報告

近畿支部は2000年7月に同窓会初めての支部として設立されましたが、その後活動が停滞してしまいました。申し訳ありませんでした。

昨年10月頃から、また名簿整備から始めまして今年4月17日、大阪のホテルグランビアにて10年ぶりに再出発の総会の開催にこぎつけました。

現在、近畿支部管内には約400名の卒業生が活躍しており、今回の総会には52名の参加がありました。



冒頭、震災犠牲者、同窓会物故者に対して全員で黙祷をささげた後、後藤精司代表(S54卒)のあいさつで開会、続いてこの空白の10年間の経過報告を行い規約を改正、総会を3年毎から毎年開催といたしました。活動の停滞を反省してのことです。

総会に引き続き、「パンデミック2009のまとめと課題」という演題で、大阪府立公衆衛生研究所副所長の高橋和郎先生(S55卒)に記念講演をしていただき、活発な討議が行われました。新型インフルエンザの動向、今後の見通しなど、最新の知見が得られ、実地医家にとっても非常に有益な講演となりました。

講演会の後、懇親会が持たれ高橋先生のご発声での乾杯の後は、それぞれ同期の者同士、あるいはクラブの先輩後輩といったグループでひさしぶりの再会に話に花を咲かせました。また、あちらこちらで名刺交換の風景も見られ、今後当支部が仕事上も役に立っていくことを願っております。

今回、近畿支部の存在を全く知らなかった同窓生も多く、この10年間の空白を痛感した次第です。今後しっかりと埋めていきたいと考えています。

近畿支部は近畿圏(近畿2府4県、およびその周辺地域)に居住、あるいは在職の方で構成されています。今回連絡のなかった方、また他地域の方でも参加ご希望の方(!)、是非ご連絡くださいますようお願いいたします。

来年の総会は2月ごろに予定しております。

(文責 朴 信正 park@h9.dion.ne.jp)

第5回愛媛大学医学部同窓会中国支部総会報告



平成23年5月21日、岡山駅に隣接する「ラヴィール岡山」で第5回中国支部総会が開催されました。参加者は1期生から18期生まで総勢32名。支部代表下原康彰先生(1期生)の挨拶で始まり、川崎医科大学消化器外科准教授の山下和城先生(8期生)が「大腸がん治療の現状」と題し、記念講演を行いました。最新の内視鏡手術の進歩にも驚かされましたが、現在の愛媛大学本学、医学部、松山の街並みなど、懐かしさと同時に変貌した風景の映像に皆感慨深く見入っていました。

懇親会ではそれぞれ近況報告を行いました。学生時代や最近の身の話題が飛び交い楽しい時間を過ごすことができました。殊に出席者の多い学年は同期会の様相で大変盛り上がっていました。同期生のみならず先輩、後輩の先生方との交流は地域における医療ネットワーク構築に大いに役立っていると感じられました。

現在中国5県で約300名の愛媛大学医学部卒業生が活躍中です。ただ会員の移動も多く、全ての先生の所在を把握することができません。今回案内が届いていない先生はご面倒をおかけしますが当支部へご連絡いただければ幸いです。次回は2年後(平成25年)に広島で開催です。さらに多くの先生方、特に若い先生方の参加をお待ちしております。

(文責 田辺耕三)

第8回愛媛大学医学部同窓会九州支部総会報告

平成23年7月23日、第8回愛媛大学医学部同窓会九州支部総会が、例年通りの博多都ホテルにて18時30分より開催されました。ここ数年20人を切っていた参加人数が、今年は計21人となり久しぶりの盛況でした。昨年は小川暢也先生が体調不良で欠席され教官の参加が0だったのですが、今年は見事に復活され、お元気なお姿を拝見出来、同窓生一同大変嬉しく思いました。また、遠く宮崎から浜田稔先生も駆け付けられ教官2人となり、皆の更なる喜びとなりました。



総会後の学術講演では、大分大学医学部・大学院医学系研究科 生体構造医学講座 教授の9期生濱田文彦氏による「ハエを使って発がんのメカニズムに迫る」というショウジョウバエを使っての基礎的研究成果を興味深くお話頂き、いかに濱田氏がショウジョウバエをお好きかが良く分かり、好きこそもの上手なれと再確認した次第です。ショウジョウバエに目を細める氏の優しさが感動を呼んだ講演でした。

その後、例年通り同ホテルにて、懇親会、二次会が行われ、あちこちで笑いや歓声が上がりと和気あいあいとした雰囲気の中、いつまでも名残惜しいと感じられるような時間が経過しました。しかし、今年は、忙しい方が多かったのか、不思議と三次会への流れはありませんでした。

九州各地の愛大医学部同窓生の皆さん、また、来年会いましょう！来年は7月28日土曜日です。九州でない地域の同窓生の飛び入りも大歓迎です。但し、会費だけは払って下さいね。それさえクリア出来れば大歓迎ですので宜しく！

(文責 九州支部長 西口昭弘)

西予市出身医師と医学生、西予市に家族・親戚がいる医師と医学生、西予市に住んだことがある医師と医学生、西予市の医療に興味がある医師と医学生を対象に交流会「敬作・お稲の会」をします。

- ◆平成24年1月8日(日)午後2時から5時まで 西予市役所大会議室
対象の方は案内を送りますので平成23年11月22日までにご連絡ください。
参加できない方もご連絡いただければ幸いです。

【連絡先】 樋口志保 (11期生)
〒797-0046 愛媛県西予市宇和町上松葉191-1
TEL.0894-62-7727 hishi523@mf.pikara.ne.jp